

2017年6月12日(月)  
鉄鋼新聞(2)

# JFEシビル 全国大会を開催

システム  
建築協力会

藤井社長「今年度売上げ、最高の225億円目標」

JFEシビル(社長  
藤井善英氏)が展開  
するシステム建築商品

「メタルビル」の施工店などで構成される「JFEシステム建築協力会」の全国大会が8日夕、新潟市のANAクラウンプラザホテル新潟で開催された。大会には藤井社長をはじめ会員など約150人が出席した。

藤井社長「写真①」

「当社は建築事業、システム建築事業が大黒柱だが非常に好調だ。特に物流施設は4万〜5万坪級の超大型案件を今年3〜4件手掛ける予定で、主要顧客の投資意欲は非常に強い。システム建築も



人材不足を背景に追い風で、非常に強い手応えを感じている。当社は中期計画の最終年度となる今年度、売上高1千億を掲げている。事業計画の達成はシステム建築事業にかかっており、16年度は196億円と過去最高の売上げを達成した。今年度は225億円の計画で進んでいるが、これを達成できれば1千億円を達成できる。そのためにも協力会の協力・支援は必須。皆さんに大きくなっていただき一緒に成長したい」と述べた。

来賓として新田三男

JFEスチール新潟支

社長「写真②」が挨拶

し「新潟は当社にとっ

て大変古く縁が深い地

域。前身の日本鋼管が

この地に昭和10年に合

金鉄工場を建設した。

昭和49年をピークに平

成元年に新潟での生産

を終えたが、その工場はNKK精密、JFE精密と名を変えて冷間鍛造品を現在も造っている。一方で川崎製鉄も千葉での製鉄所建設を決めた時に川崎汽船の専務だった大久保賢治郎氏に土地の調査・取得でお世話になった。大久保氏は戦後に新潟で新潟臨港海陸運送や佐渡汽船などの社長に就任し新潟と縁が深い。当社の顧客も古くからの顧客が多く、一緒に成長を分かち合ってきた。協力会の皆さんとの関係もJFEシビルのみならず当社とも強固になるよう努力していく」と述べた。